



あなたのすぐそばに水道施設があること、 知っていますか？



横浜市水道局 小又 梨紗子
(令和7年度抄録委員会委員)

皆さんが最初に思い浮かべる水道施設はなんでしょう。水道といえば、蛇口をひねれば出てくるものというイメージが強いと思いますが、水道水としてお届けするまでには多くの水道施設を経ています。水道施設は主に①導水施設、②浄水施設、③配水施設、④給水施設の4つの流れで成り立っており、特に水道管路についてはいつも歩く道路の下に必ず入っている施設のため、水道施設といえば管路のイメージを持つ方も多くいると思います。そんな水道施設の中でもちょっと意外な施設についてご紹介します。

横浜市にある野毛山公園は観光名所としても知られるみなとみらい21地区へ主に水を供給する配水池の上に作られた公園です。大正15年に開園して以降100年の歴史を持ち、動物園も併設しています。実はこの野毛山は横浜水道創設の地でもあり、現在運用している配水池の他にも、今は廃止されている旧配水池や横浜水道の創設に携わったH. S. パーマー氏の胸像もあり、あちこちに水道の気配が潜んでいます。休日には多くの人であふれ、憩いの場としても知られるこの公園の下には、実は多くの人の生活を支える水道施設が存在します。



今回紹介した野毛山公園だけでなく、皆さんの身近にも多くの水道施設が存在します。その中でも配水池を含む災害時給水所*では、災害などで断水したときにどなたでも飲料水を得ることができます。皆さんの知っている場所や普段行く場所の下にも、実はあなたが飲んでいる水道水が貯留されているかもしれません。

*各都市により名称が異なります